

みなさんの健康は マカセテ... 保健委員さん大奮闘

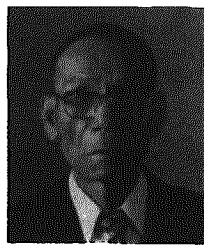


健康食の研究に余念のない
保健委員さん

五十世帯に一人の割合に、保健委員がいます。ご存知でしょうか。保健委員さんの仕事は、たくさんあります。

一人でも多くの町民の健康保持

森清太郎氏が知事表彰 自治行政功労者として



「文化の日」の三日、五十二年度県政功労者表彰式が行われ、森清太郎氏(前町長)が自治行政功労者として県知事から表彰状が贈られ

ました。氏はご存知のように五十二年二月町長を退任されるまで、四十数年間に亘り本町自治振興に寄与され町政発展一筋に貢献されました。この立派な功績が認められこの度新潟県ほう賞規程により県知事表彰を受けられたものです。住民福祉の向上をはじめとし幾多地方自治行政に献身された大きな業績は本町が生んだ至宝であり心からお祝いを申し上げます。

に、検診の啓蒙やお手伝い、もう一つは生きていくに欠かせない、食事の調理実習などを行い、これを主々の地域で、また伝達実習を行行い、健康づくりに一生けん命です。

先日(十月十四日)黒埼町と巻町の脳卒中後遺症者の交換会が開かれると聞き、何かお役に立てばと、當日頃勉強してきた、成人病者に適した調理をと、五十人分の弁当、みそ汁を作り、中食事には、参加者から「おいしい」「うまい」と喜ばれ、忙しい一日をさいて「ボランティア活動」に参加した人達は「健康の基礎は食べ物です。こんなに喜んでいただけるのであれば、これからもっと腕をみがき、健康食をドンドン作り奉仕活動の輪を広げていきたい」と話していました。

つながる『飲酒運転』

あー一杯が大きな事故に

二・一世帯に二台——これは、全国平均で見た乗用車の保有台数です。

一方、十六歳以上の「免許適齢人口」に占める運転免許保有者の割合は、男性が一・五人に一人、女性が四・五人に一人、全体で二・二人に一人となっています。

——二世帯に一台の割合で、乗用車を持ち、二人に一人が運転する——クルマは、私たちの生活により一層身近なものとなりました。ところで、成人男女の八割は酒を飲むといわれます。国民皆免許時代といわれる一方で、酒が日常

広く親しまれる——車を運転するものはだれもが飲酒運転や酒気帯び運転の危険性を宿しているといえます。

酒酔い運転による死亡事故は、スピード違反、わき見運転に次いで多く、その死亡率たるや、平均の三・二倍という高率です。

年末年始は、特に飲酒の機会が多くなります。「この程度なら大丈夫」——これが一番危ないのです。くれぐれもご注意ください。

十二月は、一年のうちで、最も交通事故の多い月です。

特に年末は、ドライバーも歩行者も、気分的に何かとあわただしくなります。一方で、交通渋滞がひんぱんに起きるようになります。気ぜわしさとイライラが高じ、とすれば、スピードの出し過ぎ、無理な追い越しなどの違反運転が目立つようになります。なかでもこの時期にふえるのが、飲酒運転による事故です。酒を飲む機会が多くなる年末年始は十分ご注意ください。

アルコールは、自分は大丈夫だと思っても理性をマヒさせ、判断力を鈍らせるところに、その怖さがあります。

運転中、信号を見忘れるなど、注意力が散漫になったり、歩行者に気が付いても、ブレーキ操作が間に合わないなど、正常時に比べて動作の遅れが目立つようになります。

「酒一合——ほろ酔い時の運転実験」によりますと、運転技能は、

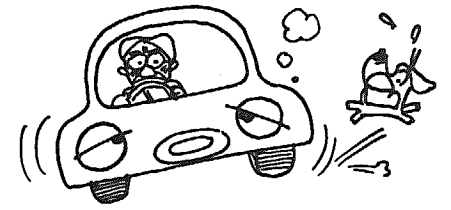
アルコールが入ると スピードの出し過ぎ ブレーキの踏みおくれ

飲酒後三十分で最も悪くなり、以後、徐々に回復したものの、二時間たってもまだ飲酒前の正常な状態には戻らなかったということです。

さて、どのように運転技能が低下したか見てみましょう。

まず第一に、ブレーキの踏み方がおくれ、第二にスピードの出し過ぎが目立ち、第三にアクセル、クラッチの踏み方が粗暴になる——すなわち、下肢の運動機能が鈍くなりました。

次いで、軽くですがハンドルのふらつきが見られました。また、交差点では、方向シグナルを出し忘れたり、安全確認をおこたつたり、また停止位置が不安定になりました。



通行区分が守られませんでした。飲酒は、反応を鈍らせ、注意力を散漫にします。「ちよっと一杯ぐらい……」の気のゆるみが、最も危ないのです。

中小企業従業者に 住宅資金 二百万円まで

新潟県では、昭和五十三年度の中小企業従業者に、住宅資金の貸付けを行っています。資金に余裕があるため、受付期間を延長しました。

○貸付対象者
県内の中小企業に働いている勤労者で、自分で住むための住宅を新築・増改築・購入しようとする人

○貸付条件
三十万円以上十万円単位で、二百万円まで

○利率 年六・五パーセント

○償還方法
十年以内の元金均等月賦償還

○取扱いは、第四銀行・北越銀行
新潟相互銀行の本・支店

※ただし、融資わくを消化した場合は、受け付けを停止します。

※くわしくは
県商工労働部労働課、労働事務所、または、取扱い金融機関におたずねください。

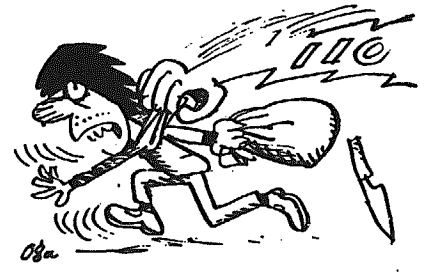
軒なみ被害 ドロボウにご用心

最近、夕食時やテレビを見ているスキを狙って、現金や預金通帳、印鑑などを専門的に盗むドロボウが横行し、既に木場地区を中心に十七件(十一月六日現在)、現金数百万円が被害に合っています。

この事件は、いずれも家人が在宅中、室数の多い大きな家の横口の施錠のないところや、窓の「カギ」をこわして、寝室や居間などに侵入し、主にタンス等から現金を狙ったものです。

警察の調べでは、この一連の犯行手口は非常に巧妙で、全国を股にかけての犯行ではないかと、捜査を行っています。

不審な人物や車などを見かけた場合、すぐ警察に連絡するよう、呼びかけています。



「二〇番」通報するときは、あわてず、落ち着いてお話しください。

「二〇番」通報は 落ちついて 順序よく!

①何があったか(交通事故、泥棒)

②いつあったか(時間帯)

③どこであったか(わかりやすい目標物)

④どんな状況か

⑤犯人の人物や特徴、車のナンバー、型、色、逃走方向など

⑥あなたの住所、氏名、電話番号

以上のように話すと、警察官にもわかりやすく、犯人の検挙率も高くなります。